

* PMC (自動光電子午環) 建設時のアルバムなどの収蔵

自動光電子午環の工事が始まったのは昭和 55 年 (1980 年) のことである。完成は昭和 57 年 (1982 年) であった。自動光電子午環はすでに役目を終え、その建物は天文機器資料館として活用されている。

自動光電子午環建設に活躍された方々の多くはすでに天文台を去られているが、その中の 1 人が天文台に在職しておられる。その 1 人、鈴木駿策氏が持っておられた資料をアーカイブ室に提供してくれた。提供された中の一つについては、アーカイブ室新聞第 412 号に「自動光電子午環室基幹整備工事図面を収蔵」(2011 年 1 月 19 日) という記事を書いた。

提供していただいた資料の一覧は下記のとおりである。

資料 (鈴木駿策氏から) 2011 年 1 月 18 日頃から数度にわたって提供があった。

- 1) 平成 4 年に文部省に貸し出した写真のコピー (東京都の国立天文台の紹介用)
- 2) PMC ドーム写真 (6 つ切りサイズ)
- 3) 手札サイズの PMC ポジフィルム
- 4) PMC ドーム写真 (6 つ切りサイズ+カラーネガ)
- 5) PMC カラー写真 (6 つ切りサイズ)
- 6) ゴーチエ子午環カラー写真(キャビネサイズ)
- 7) ゴーチエ子午環の CCD 受光機 (望遠鏡についているところ)
- 8) ゴーチエ子午環の CCD 受光機受け口写真
- 9) ゴーチエ子午環 CCD の受光部写真
- 10) ゴーチエ子午環の CCD 受光機取り付けの様子写真
- 11) 2) の写真パネル
- 12) PMC 写真パネル (ピアがコンクリートむき出し)
- 13) PMC 写真パネル (ピアにコルクが貼ってある写真) 望遠鏡は真上を向いている
- 14) 京都大学ドームレス太陽望遠鏡見学時のアルバム
- 15) PMC 基幹工事 (1) アルバム (赤い表紙)
 1. E サイズ写真 81 枚、貼り合わせの長い写真 : 9 枚、その他に図面多数
- 16) PMC 基幹工事 (2) アルバム (青い表紙)
 1. E サイズ写真 33 枚
- 17) PMC 工事アルバム ドーム、 制御棟、 通関 (青い表紙)
- 18) PMC 工事アルバム PMC 組立 I (青い表紙)
- 19) 自動光電子午環室 基幹整備工事 昭和 55 年 9 月 図面帳 (大きな図版のもの)
アーカイブ室新聞 412 号に紹介した基幹整備工事の図面から、筆者が必死に追い求めて

いた戦前東京天文台に聳えていた4本の60m鉄塔の最後の1本の基礎が、この工事で撤去されていたことを知った。これで60m鉄塔の痕跡を追跡する必要がなくなったのはさびしいが、終止符を打たせてもらったことはよかったと思っている。

寄せられた中には、自動光電子午環室の美しい写真(写真1)があり、また自動光電子午環のピアがコンクリートの剥き出し(写真2)から、コルクで覆われ(写真3)、そして現在はコルクの上ステンレスで覆われている歴史をみることもできる。



写真1 完成当時の自動光電子午環棟

写真1で見ると、当時はゴーチエ子午環棟の子午線標室に向かう道路にはポプラ並木があったことが分かるし、ゴーチエ子午環室の西にある現在では巨木の桜もこの写真には写っていない。新しい自動光電子午環室の周りには木がなかったことも分かる。

写真2の自動光電子午環の写真ではピアがコンクリートの打ちっぱなしであり、また写真3ではピアはコルクで覆われている。

今回、入手したアルバムで三鷹にいたものもほとんど見たことのない自動光電子午環室の建設の様子が分かるのもありがたい。今までにない広い面積の工事であったことがよく分かる。それらについては、それぞれのアルバムについて稿を改めて報告したい。

もらった資料の中に、京都大学飛騨天文台のドームレス太陽望遠鏡を視察したアルバムがあるが、この60cmドームレス太陽望遠鏡は、自動光電子午環の製作社が同じドイツのツァイス社であることから、子午線グループが視察に行ったのであろう。



写真2 ピアがコンクリートのまま

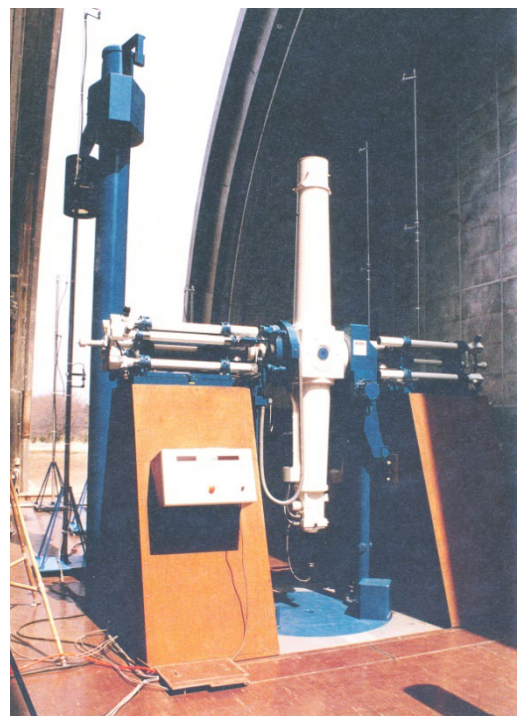


写真3 ピアがコルクに覆われている

資料番号 15) のアルバム の最後に多数の図面が挟まれていた中に写真4があった。自動光電子午環は自動光電子午環室の中だけでは閉じられていない。南北80数mの場所に子午線標室があるが、なぜ窪地の中にあるかなどの理由を知る者は少ない。今回はこの図面を紹介するにとどめておきたい。

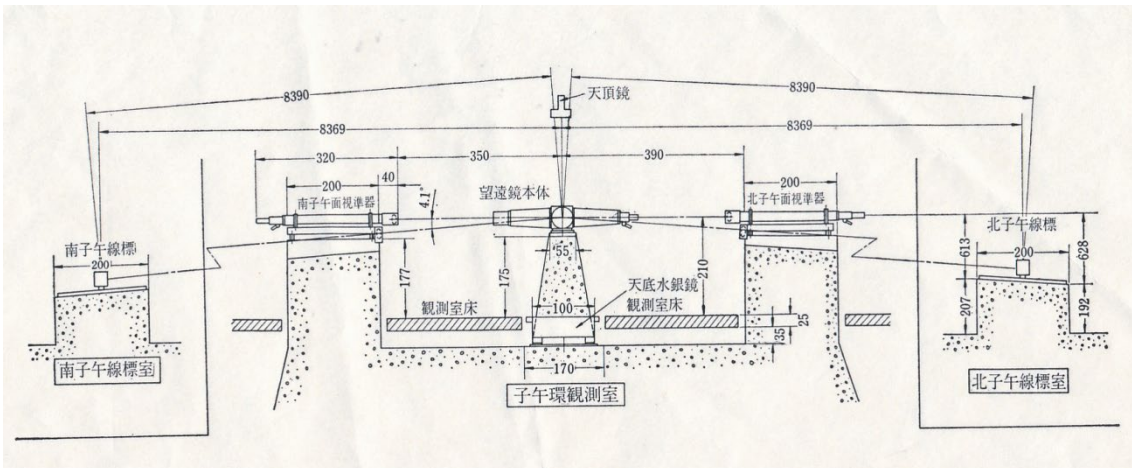


写真4 自動光電子午環の概略図

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaj@pub.mtk.nao.ac.jp